

| | | | | | | | |
|------|------------|------|----|--------|--------|------|-----|
| 科目名 | eコマースと企業活動 | | | ナンバリング | BUS262 | 授業形態 | 講義 |
| 対象学年 | 3年 | 開講時期 | 後期 | 科目分類 | 選択 | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 裴鍾民 | 担当教員 | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 授業の概要 | ICTの発展とともに急変する現代社会の中で、電子商取引(eコマース)を理解しそれを利用することの重要性は更に高まっている。本科目では、①現在のeコマースに関する具体的な事例分析を通じてeコマースを理解し、②eコマースを利用する企業活動(特にマーケティング活動)を理解することを目的とする。eコマースの概念と事例を分析することとともに、クラウドコンピューティング、SNS、ビッグデータ、AI、IoTなど、最新のICTテーマに関する考察を行い、その上での企業活動を理解する。これらを学修することにより、情報化社会において就職活動に役立てるのは勿論、社会人として活躍する際に必要な知識を蓄えることを目的とする。 | | | | | | |
| 到達目標 | ① eコマースの登場にしたがって変化した市場を理解する。(市場を読む) ② 最新のICTとトレンドに関する考察を行い、企業のマーケティング活動を理解する。(企業活動を理解する) ③ 市場を分析した結果をレポートにまとめて発表することができる。 | | | | | | |
| 学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など) | 現在、話題となっているICT関連 이슈を熟知しておくこと。 経済・ビジネスのニュースへの関心及び疑問を持つようにすること。 | | | | | | |
| ディプロマポリシーとの 関連 | 【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】 | | | | | | |
| | ○ | 1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。 | | | | | |
| | ○ | 2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。 | | | | | |
| | | 3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。 | | | | | |
| | ○ | 4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。 | | | | | |
| | ○ | 5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。 | | | | | |
| | | | | | | | |

| 標準的な到達レベル(合格ライン)の目安 | 理想的な到達レベルの目安 |
|--|---|
| ① 当該分野に関する基本用語を熟知し、基本概念を説明することができる。 ② 当該分野の近年の動向や特徴的な事例について探し、分析することができる。 ③ 授業内容に関連した問題意識を持ち、それをレポートにまとめて発表することができる。 | 左記の項目について、 ① 専門用語を正しく使うことができる。 ② ICTの変化に伴う社会現象と企業活動を説明することができる。 ③ eコマースに関して、レポートにまとめて発表することができる。 |

| 成績評価観点 評価方法 | 成績評価観点 | | | | | | 評価割合 |
|----------------|--------|-------|-------|----|-------|-----|------|
| | 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | その他 | |
| 定期試験(中間・期末試験) | | | | | | | |
| 小テスト・授業内レポート | ○ | ○ | ○ | | ○ | | 50% |
| 宿題・授業外レポート | | ○ | ○ | | ○ | | 30% |
| 授業態度・授業への参加 | | | ○ | ○ | ○ | | 20% |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 課題、評価のフィードバック | 講義の最後に、講義内容に関する振り返り小テストを実施し(manab@を使用)、次授業の冒頭で解説する。 |
|---------------|---|

| | 回次 | テーマ | 授業内容 | 備考 |
|----------|------|--|--|----|
| 授業計画 | 第1回 | イントロダクション | 授業の目的と問題意識、学修動機の共有を行う | |
| | 第2回 | ICT産業の動向(1) | 関連事例を中心として、モバイル機器やクラウドコンピューティングの市場を解説する。 | |
| | 第3回 | ICT産業の変化(2) | 関連事例を中心として、ソーシャルメディアやビッグデータの市場を解説する。 | |
| | 第4回 | ICT産業の変化(3) | 関連事例を中心として、AI、IoT市場を解説する。 | |
| | 第5回 | ICT産業の変化とマーケティング(1) | ICT産業の変化によるマーケティング活動を解説する。 | |
| | 第6回 | ICT産業の変化とマーケティング(2) | ICT産業の変化によるマーケティング活動を解説する。 | |
| | 第7回 | eコマースの基礎 | eコマースの基本的な概念を解説する。 | |
| | 第8回 | eコマースの事例(1) | eコマースの基本的な事例を解説する。 | |
| | 第9回 | eコマースの事例(2) | eコマースの基本的な事例を解説する。 | |
| | 第10回 | デジタル・マーケティング(1) | デジタル・マーケティングの基本的な概念を解説する。 | |
| | 第11回 | デジタル・マーケティング(2) | デジタル・マーケティングの事例を解説する。 | |
| | 第12回 | 市場分析(1) | 市場分析の方法を解説する。 | |
| | 第13回 | 市場分析(2) | 市場分析の方法を解説する。 | |
| | 第14回 | レポート発表 | 各自がレポート内容を口頭発表し、教員からコメントを受ける。 | |
| | 第15回 | 総括 | これまでの講義内容を総括した上で、同分野のこれからの展望を解説する。 | |
| | | 試験 | 試験は実施しない。 | |
| 授業の進め方 | | 講義、事例把握のための映像視聴、質疑応答。 | | |
| 授業外学習の指示 | | レポートのテーマに関して常に考えておき、授業時間外にレポートを作成しなければならない。 (授業外学習時間: 毎週 120 分) | | |

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 教科書 | 教科書は使用しない。随時、資料を配付する。 |
| 参考書 | 「日本経済新聞」、「日経MJ(流通新聞)」など。 |
| 参考URLなど | 特になし |
| その他 | 講義後半に実施する小テストはmanab@のレポート機能を使用する。 |